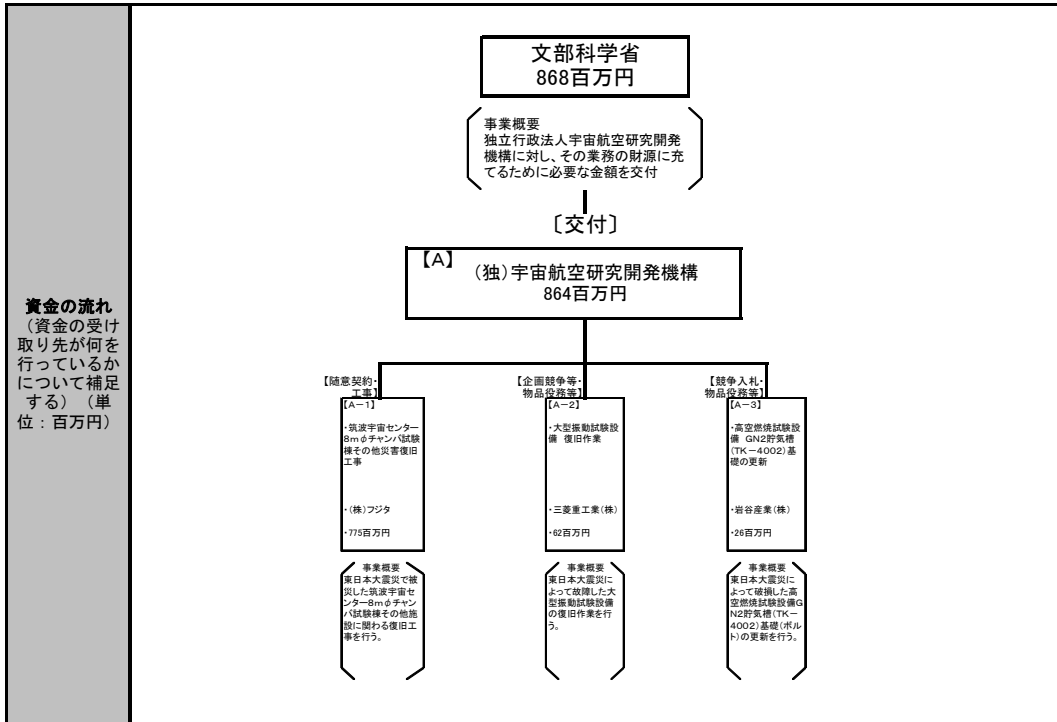


平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

| | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|----------|-------------------|---|--------------|--------------|---------------------------|
| 事業名 | 独立行政法人宇宙航空研究開発機構施設整備に必要な経費（復興関連事業） | | 担当部署 | 研究開発局 | 作成責任者 | 宇宙開発利用課長 柳 孝 | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成23年度～平成24年度（予定） | | 担当課室 | 宇宙開発利用課 | | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | 施策名 | X-6 宇宙・航空分野の研究・開発・利用の推進 | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 宇宙基本法 独立行政法人宇宙航空研究開発機構法第18条第1項 | | 関係する計画、通知等 | 宇宙基本計画(平成21年～) 独立行政法人宇宙航空研究開発機構第2期中期計画 | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 東日本大震災により(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の筑波宇宙センター等の施設・試験設備及び開発中の衛星等が一部被害を受け、職員の安全な職務遂行及び人工衛星・ロケットの開発業務に大きな影響を与えた。そのため、本事業では被害を受けた施設・試験設備の修繕を行い、本来の研究開発業務を遂行可能な状態に復旧する。 | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | (独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センター施設における壁及び天井の修繕や人工衛星・ロケットの開発に必要な試験設備の修繕を行う。[補助率:定額] | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | 予算の状況 | 当初予算 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 |
| | | 補正予算 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 繰越し等 | 0 | 0 | 1,104 | 0 | |
| | | 計 | 0 | 0 | -236 | 236 | |
| | 執行額 | 0 | 0 | 868 | 236 | | |
| | 執行率(%) | - | - | 100.0% | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値(年度) |
| | (独)宇宙航空研究開発機構の事業を実施するうえで必要な施設、設備を復旧整備する | | 成果実績 | — | — | — | 事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす |
| | | | 達成度 | % | — | — | — |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | 復旧実施件数 | | 件 | — | — | 7 | — (3) [23年度からの継続] |
| 単当たりコスト | 158 (百万円/件) | | 算出根拠 | 予算額(1,104百万円)÷復旧実施件数(7件) | | | |
| 平成24・25年度予算内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 計 | | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|--|--|---|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | 本事業は、東日本大震災による被害を受けた宇宙航空研究開発機構の施設に対する補修を行うものであり、国が実施すべき事業である。本事業により補修された施設・設備は、宇宙基本計画の実現に向けた研究開発の推進等に必要なるものであることから、優先度が高い事業である。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | — | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、使途・費用 | △ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | 宇宙航空研究開発機構はこれまで第2期中期目標・計画に基づき、一般管理費の削減を図るとともに、新規に追加される業務と業務拡充等を除くその他の事業費を削減し、経費の合理化・効率化に取り組んでいる。また、支出先の選定に当たっては、宇宙開発の特殊性により、一定の社応札が避けられないものもあるが、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとするなど、競争性・透明性を確保する取組みを続けている。 |
| | — | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | 東日本大震災により被害を受けた筑波宇宙センター及び角田宇宙センターの本事業による復旧作業を実施し、平成23年度以降の開発、打上げ、観測データの校正等を計画どおり実施できるよう復旧しており、当初予定どおり年度計画を達成した。 |
| | ○ | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | — | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | |
| 点検結果 | <p>○東日本大震災直後から、被災した事業所、大型衛星試験設備等の早期復旧に全社的体制で取り組み、打上げ・衛星開発等の事業計画への影響を回避した。本事業により補修された施設・設備を用いた研究開発の成果は、宇宙基本計画の実現や、国民の安全・安心で豊かな社会の実現のほか、宇宙に関する人類共通の知的資産の拡大等に貢献するものである。</p> <p>○契約については、真にやむを得ないものを除き、原則として一般競争入札等によることとし、随意契約見直し計画を策定し、随意契約の件数・金額を着実に低下させている。また、一般競争入札等により契約する場合であっても、入札公告前に、チェックシートを用いて競争性を妨げる要因がないかの自己点検を行うほか、電子入札システム、調達情報配信サービス、競争契約に係る仕様書を受領した業者を対象にウェブアンケートを実施するなどの改善を進めている。</p> | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| 現状通り | <p>1. 事業評価の観点：この事業は、東日本大震災で被災した筑波宇宙センター施設における壁及び天井の修繕や人工衛星・ロケットの開発に必要な試験設備の修繕を行うのに必要な施設整備費補助金を支出するものである。</p> <p>2. 所見：東日本大震災により被害を受けた施設・試験設備等の修繕を行い、本来の研究開発業務を遂行可能な状態にするため、迅速に施設の復旧を行うべきである。ただし、過去の事業仕分け等での指摘等を踏まえ、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。なお、本事業については、予算の一部を平成24年度にくりこしているが、当該予算が東日本大震災からの復旧・復興のための経費であることを鑑み、引き続き早期執行に努めるべきである。</p> | | |
| 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等) | | | |
| - | | | |
| 補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載） | | | |
| <p>○JAXA中期目標、中期計画 http://www.jaxa.jp/about/plan/index_j.html</p> | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | - | 平成23年行政事業レビュー | 復興-0042 |



| A.宇宙航空研究開発機構 | | | A-5.- | | |
|--------------|------------------------------------|--------------|-------|-----|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 業務費 | 筑波宇宙センター(施設、設備)の 修繕、角田宇宙センターの修繕 | 864 | - | - | - |
| | | | | | |
| 計 | | 864 | 計 | | 0 |
| A-1.(株)フジタ | | | A-6.- | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 工事 | 筑波宇宙センター8mφチャンバ 試験棟その他災害復旧工事 | 775 | - | - | - |
| | | | | | |
| 計 | | 775 | 計 | | 0 |
| A-2.三菱重工業(株) | | | A-7.- | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 役務 | 大型振動試験設備 復旧作業 | 62 | - | - | - |
| | | | | | |
| 計 | | 62 | 計 | | 0 |
| A-3.岩谷産業(株) | | | A-8.- | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 役務 | 高空燃焼試験設備 GN2貯気槽 (TK-4002)基礎の更新 | 26 | - | - | - |
| | | | | | |
| 計 | | 26 | 計 | | 0 |
| A-4.- | | | A-9.- | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| - | - | - | - | - | - |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| A-10.- | | | | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | | | |
| - | - | - | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | | | |

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 | 入札者数 | 落札率 |
|----|----------|---------------------------------|-----|-------|-----|
| 1 | (株)フジタ | 東日本大震災で被災した筑波宇宙センター8mφチャンバ試験棟そ | 775 | 随意契約 | — |
| 2 | 三菱重工業(株) | 東日本大震災によって故障した大型振動試験設備の復旧作業を行 | 62 | 企画競争等 | — |
| 3 | 岩谷産業(株) | 東日本大震災によって破損した高空燃焼試験設備GN2貯気槽(TK | 26 | 1 | ※ |
| 4 | - | - | - | - | — |
| 5 | - | - | - | - | — |
| 6 | - | - | - | - | — |
| 7 | - | - | - | - | — |
| 8 | - | - | - | - | — |
| 9 | - | - | - | - | — |
| 10 | - | - | - | - | — |

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表としている。